

## 【別紙 14】

### モニタリング実施要領

#### 1 概要

性能規定型では、実施した数量ではなく、発注者の求める要求水準に達しているか否かに基づいて対価を支払うこととなるため、客観的な記録に基づき業務確認（以下、モニタリングという）を適切に行う必要がある。そのため、発注者と受注者の双方において、業務の履行状況や要求水準の達成状況を確認する必要がある。

#### 2 目的

次の内容を目的としてモニタリングを実施する。

- (1) 市民の安全・安心及び利用環境の確保
- (2) 要求水準の達成状況の客観的な把握  
(作業内容や手段ではなく、結果としての施設状態・サービス水準を評価)
- (3) 性能規定型契約における成果責任（アカウンタビリティ）の明確化
- (4) 不具合・課題の早期是正と継続的改善の促進
- (5) 支払い及び評価の根拠資料の確保

#### 3 役割分担

発注者と受注者の双方で実施し、役割分担は次のとおりとする。

- (1) 受注者
  - ア セルフモニタリング（自主点検・自己評価・データ作成）の実施・提出
  - イ 是正指示への改善対応
- (2) 発注者（施設担当課）
  - ア 受注者のセルフモニタリングの結果を受けモニタリング実施
  - イ モニタリング結果通知（是正指示）

#### 4 対象業務

性能規定型契約を対象とし、表 1 に示す。なお、仕様規定型契約は対象外とし、完成検査をもって確認を行う。

表 1 モニタリングの対象

業務項目	業務内容	発注方式	確認方法
全体マネジメント業務	全体業務調整、対策判断・指示、会議の設置・運営	性能規定	モニタリング報告書・ 現地確認
窓口業務	電話等による相談要望の受付		
巡回業務	市道、公園の定期巡回		

点検業務	街路樹点検、公園樹木点検、公園遊具点検		
道路維持補修業務	車道補修、歩道補修、排水構造物補修、道路附属物補修、橋梁補修、植栽維持管理、清掃、除草		
河川維持補修業務	護岸・水路補修、堆積物撤去、除草、土砂回収、樋門管理		
公園・広場維持管理業務	植栽維持管理、公園施設（宮浦公園）、広場施設（駅前広場）		
県施設維持補修業務	車道補修、歩道補修、排水構造物補修、道路附属物補修、植栽維持管理補修、清掃、除草、凍結防止剤設置撤去	仕様規定	完成検査
交通安全施設整備業務	道路照明、防護柵、道路標識、道路反射鏡、区画線の補修及び新設		
道路附属物維持補修業務	道路照明補修、道路標識補修、道路反射鏡補修		
舗装維持補修業務	舗装補修（表層）		
道路関係設備管理業務	道路排水設備、道路情報表示板		
橋梁定期点検業務	橋梁定期点検		

## 5 実施体制

モニタリングの実施体制を図1に示す

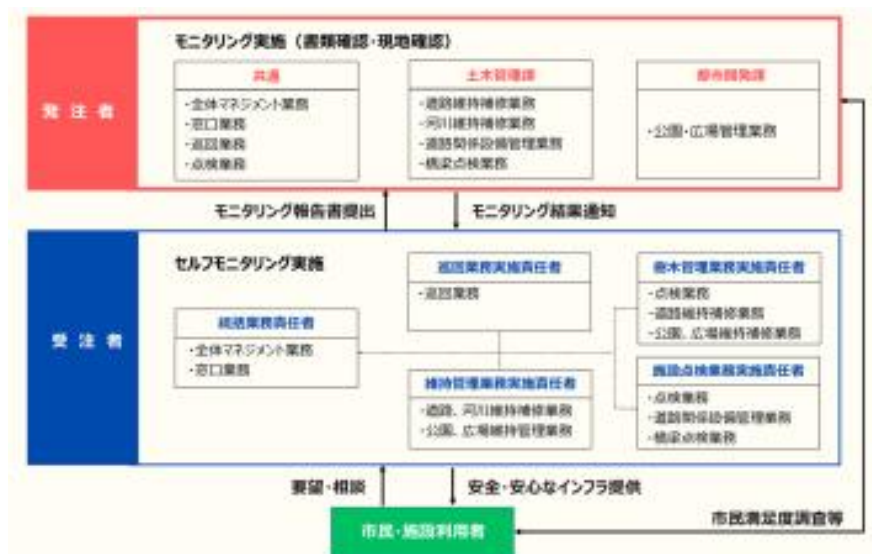


図1 モニタリング実施体制

## 6 実施の流れ

モニタリングの基本的な流れを図2に示す。

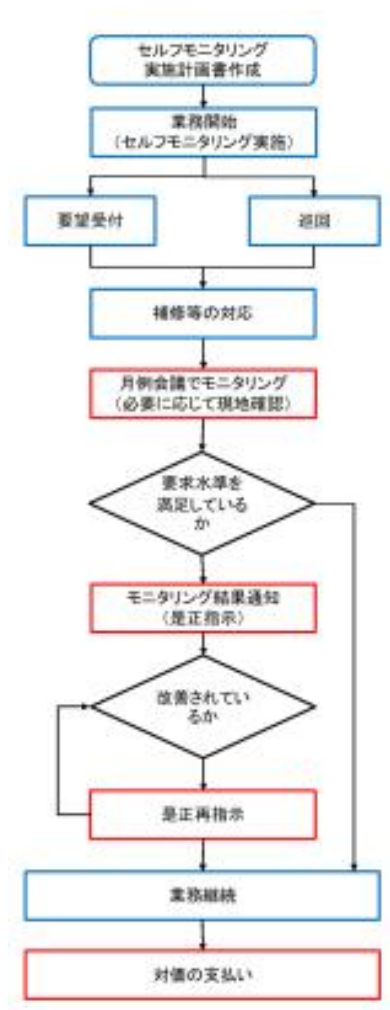


図2 モニタリングの流れ

## 7 実施方法

### (1) セルフモニタリング

受注者は、契約締結後の準備期間中にセルフモニタリング実施計画書を作成し、発注者へ提出する。内容について発注者の承諾を得てから、本業務へ着手するものとする。

受注者は、本業務着手後、実施計画書に基づきモニタリング報告書を作成する。

### (2) モニタリング

#### ア 書類確認

発注者は月例会議にて、受注者から提出された書類等により、業務実施状況、予算執行状況、要求水準の達成状況等を確認する。確認時期及び項目を、表2に示す。

表2 モニタリングの提出書類

提出書類	提出時期	記載内容
業務計画書 (各種計画書含む)	・業務開始7日前まで ・変更時	業務取組方針、計画工程表、 実施体制等
セルフモニタリング実施計画書	・業務開始7日前まで ・変更時	モニタリングの内容、体制、 時期、チェックシート等
モニタリング報告書	・月例会議の3営業日前まで	実施報告書(月報)、モニタ リングチェックシート等
引継ぎ資料	・業務終了時	業務の実績、改善点、注意事 項等

イ 現地確認

発注者は、必要に応じて各業務の実施状況を、定期または不定期に確認を行う。受注者は、発注者が現地確認を行う場合、必要に応じて協力するものとする。

ウ 共有システムの活用

発注者は、共有システムを活用し、要望受付や対応状況等の確認を行う。

## 8 費用負担

発注者及び受注者によるモニタリングに係る一切の費用は、受注者の負担とする。